

- 7月5日(水)福岡県・大分県において記録的な大雨が発生。(整備局管内初の「大雨特別警報」)
- 九州地方整備局は、7月5日16:50に災害対策本部が非常体制を発令した。

## 平成29年7月5日記録的短時間大雨に関する 内閣総理大臣指示 (7/5 18:56)

1. 早急に被害状況を把握すること。
2. 地方自治体とも緊密に連携し、人命を第一に、政府一体となって、被災者の救命・救助等の災害応急対策に全力で取り組むとともに、住民の避難支援等の被害の拡大防止の措置を徹底すること。
3. 国民に対し、避難や大雨・河川・浸水の状況等に関する情報提供を適時的確に行うこと。

## 今後の対応について国土交通大臣指示 (7/5 18:00)

1. 気象状況及び河川の嚴重な監視と、水防活動 に万全を期すこと。
2. 大雨・河川の水位・はん濫等の状況に関する情報について、住民や関係地方公共団体等に対して、適時的確に提供すること。
3. 関係地方公共団体と緊密に連携し、浸水が想定される区域内の住民等の避難が確実に進められるよう、避難支援等の対策に万全を期すこと。
4. 被災後の災害応急対策を迅速に行うための体制を整えること。
5. 関係地方公共団体からの要請を待つことなく積極的に対応するとともに、要請に対しては、迅速かつ全面的に支援すること。



▲ 本省とテレビ会議を開き情報を共有 (7/5 22:30)

- 7月5日（水）九州北部における記録的な大雨により、福岡県・大分県で甚大な被害が発生。
- 九州地方整備局は、一刻も早い被災状況の把握と災害復旧対策の技術的支援を行うため、朝倉市や東峰村、日田市などにTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣。



○ H29.7.6 (木) 福岡県からの要請を受け、東峰村へ繋がる国道211号の通行を確保するため、TEC-FORCEが被災箇所の復旧作業を進めています。



▲ 被災状況を事前に確認し作業方針を検討



▲ 昼夜を問わず啓開作業を継続

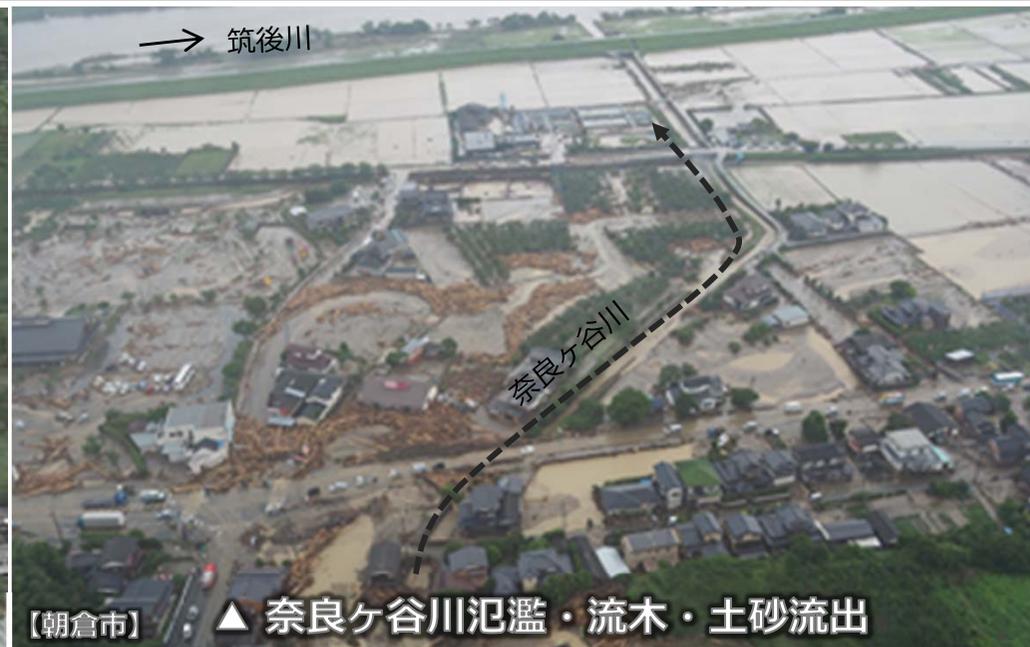


▲ 災害対策基本法に基づき車両を撤去



▲ 啓開作業が完了し道路の通行を再開 (7/6 19:00)

○ H29.7.6（木）～7（金）災害対策用ヘリコプター2機により朝倉市・日田市の上空からの調査を実施。河道閉塞・堤防決壊・落橋箇所や孤立地区への進入路を確認。



- H29.7.7 (金) 全国から九州に集結したTEC-FORCEが、被災地に向け出発しました。被災地では、被災状況の迅速な把握や早期復旧に関する技術的な支援を行います。



○ H29.7.7（金）大分県日田市小野地区で発生した斜面の崩壊を調査するため、九州地方整備局 TEC-FORCEのドローン飛行部隊を現地に派遣しました。



▲ 離陸前のドローンの点検準備



監視者

操縦者

現地空撮調整官

▲ ドローンの操作監視



▲ ドローンが離陸し崩壊箇所へ急行



【ドローン空撮】

▲ 斜面崩壊箇所を調査（日田市小野地区）

○ H29.7.6 (木) TEC-FORCEが福岡県職員と合同で、朝倉市を流れる桂川の越水箇所と荷原川の堤防決壊箇所の被災状況調査や仮復旧工法を検討しました。

かつら

いないぼる



▲ 朝倉県土整備事務所長との事前打合せ



▲ 福岡県職員と合同で被災調査



▲ 桂川の越水箇所の被災状況調査



▲ 荷原川の堤防決壊箇所の仮復旧工法の検討

○ H29.7.6(木)～ 豪雨に伴い有明海・周防灘に流木等が流出し、船舶航行の安全性が損なわれる恐れがあることから、九州地整の海洋環境整備船3隻による回収作業を実施しています。



○ H29.7.7 (金) 福岡県からの要請を受け TEC-FORCEが朝倉市内を流れる奈良ヶ谷川、<sup>ならがたに</sup>白木谷川、<sup>しらきたに</sup>寒水川<sup>そうず</sup>などの溪流調査に着手しました。



△ 奈良ヶ谷川の溪流調査に着手



▲ レーザー測器を用いて被災規模を計測



▲ 白木谷川の溪流調査箇所の確認



▲ 福岡県へ溪流調査の結果を報告

- H29.7.6 (木) 日田市で発生した小野川河道閉塞に伴う土砂災害の技術的助言を行うため、TEC-DOCTOR (水野秀明 九州大学院農学研究院 准教授) による現地調査を実施し、調査結果と今後の対応を日田市長と大分県に説明しました。



- H29.7.6 (木) ~ 福岡県東峰村では通信障害によりTV放送で気象情報が入手できないことから、衛星通信車を派遣し、レーダ画像情報を提供しました。



- H29.7.6 (木) ~ 九州地方整備局では、ホームページやSNS (Facebook,LINE@,YouTube) を積極的に活用して、被災情報や復旧に向けた活動情報を発信しています。

## 【全国のTEC-FORCEが出発】

北部九州の記録的な豪雨により、福岡県や大分県の各地で河川が氾濫するなど、甚大な被害が生じています。

一刻も早く被災地の状況を把握し、早期復旧に向けた支援を行うため、全国から九州に集結しているTEC-FORCEが被災地に向け出発しました。



△ Face bookを活用した情報発信



▲ 動画(YouTube)を活用した情報発信

国土交通省 九州地方整備局

国土交通省 九州地方整備局

【大規模な斜面崩壊現場にドローンを投入】

一刻も早く被災地の状況を把握するため、7月7日(金)に大分県日田市小野地区に、九州地整TEC-FORCEのドローン飛行部隊を派遣し、被災状況を調査しました。

調査映像は下記サイトにより (YouTube) により映像配信しています。

<https://youtu.be/OycjHpcTILs>

国土交通省 九州地方整備局

【有明海・周防灘において、豪雨による流木を回収中】

北部九州の記録的な豪雨により、有明海・周防灘に多くの流木が流出しています。

船舶航行の安全性を確保するため、九州地整が持つ海洋環境整備船3隻により、これまでに流木約300本、アシ類約170m3を回収しています。




▲ 出動した「がんりゅう」

▲ LINE@を活用した情報発信

## 朝倉市・東峰村周辺通れるマップ

2017年7月9日(日)22:00時点

通行可能区間:

通行不能区間:  土砂崩落等被災箇所: ⊗

注)対象道路は、高速道路、国道及び県道のみとし、確認出来ているもののみ表記。

【お願い】

被災地周辺は緊急車両・工事車両が多く往來しておりますので一般の通行は控えてください。



▲ 被災地周辺の通れるマップをHPで公開

- H29.7.7 (金) 現地で活動するTEC-FORCE・リエゾンを統括する隊長として整備局の幹部職員を派遣し、被災自治体の首長などに被災情報の提供や応急復旧に向けた技術支援を行っています。



△ 警察・自衛隊に被災状況を共有



△ 全国から派遣された TEC-FORCEの現地活動を整理



△ 日田市土木建築部長と復旧工法を打合せ



△ 被災状況調査の進捗を東峰村長に説明

○ H29.7.8（土）東峰村役場付近の国道211号（福岡県管理）の道路崩壊箇所において、TEC-FORCEが工事支援を実施し、7月8日に応急復旧を完了しました。



- H29.7.8 (土) 斜面が崩壊した日田市小野地区で、土木研究所の土砂災害専門家とTEC-FORCEが合同で現地調査を行い、日田市長へ報告しました。



○ H29.7.9 (日) 石井 啓一 国土交通大臣は、豪雨で被災した朝倉市、東峰村、日田市の復旧工事や道路啓開の現場を視察したほか、被災自治体の首長と意見交換しました。



▲ 被災した花月川の復旧工事を視察



▲ 国道211号 (福岡県管理) の道路啓開を視察



▲ 被災地で活動するTEC-FORCEを激励



▲ 被災自治体の首長と意見交換 (大分県知事・日田市長)

- H29.7.6 (木) ~ 九州地整の防災ヘリ「はるかぜ」で、朝倉市や東峰村などの立入困難な被災現場を定期的に上空から調査し、被災した自治体にリアルタイムで情報を提供しています。



○ H29.7.10（月）NEXCOからの要請を受け、大分自動車道高山トンネル付近の土砂流出箇所において、TEC-FORCEが現地調査を実施し、安全が確認されたことから、通行止め規制を解除しました。



▲ TEC-FORCEとNEXCOが現地合同調査



▲ 現地踏査にて崩壊規模を把握



▲ ドローンを活用し、上空から斜面全体を確認



▲ 道路に影響が無いことを確認

- H29.7.12 (水) 国道211号の要啓開区間 2.1 kmにおいて、7月16日までの緊急車両の全線通行確保に向け、道路啓開作業を進めています。(残り500m : 7月12日時点)



▲ 啓開実施状況 (7/7)



▲ 被災箇所での作業 (7/8)



▲ 地元の皆様の安全を確保し作業を実施 (7/8)



▲ 着実に通行可能区間が広がる国道211号 (7/10)

- H29.7.12（水）安倍晋三首相は、花月川のJR橋流出箇所への被災状況や東峰村の道路啓開作業、通信確保の取組を視察しました。



▲ 被災した花月川JR橋流出箇所を視察



▲ 筑後川河川事務所長より被災状況の説明



▲ TEC-FORCE隊長より復旧状況を説明



▲ 安倍首相がTEC-FORCE隊員を激励

○ H29.7.12 (水) 豪雨災害の発生から1週間、TEC-FORCEから原田啓介 日田市長に甚大な被害が発生した日田市管内の河川や道路の被災調査の中間とりまとめを報告しました。



○ H29.7.6（木）～ 地域の建設業者は、被災地の一刻も早い復旧のため、過酷な現場環境の中で重機による流木処理や道路啓開など全力で作業を進めています。



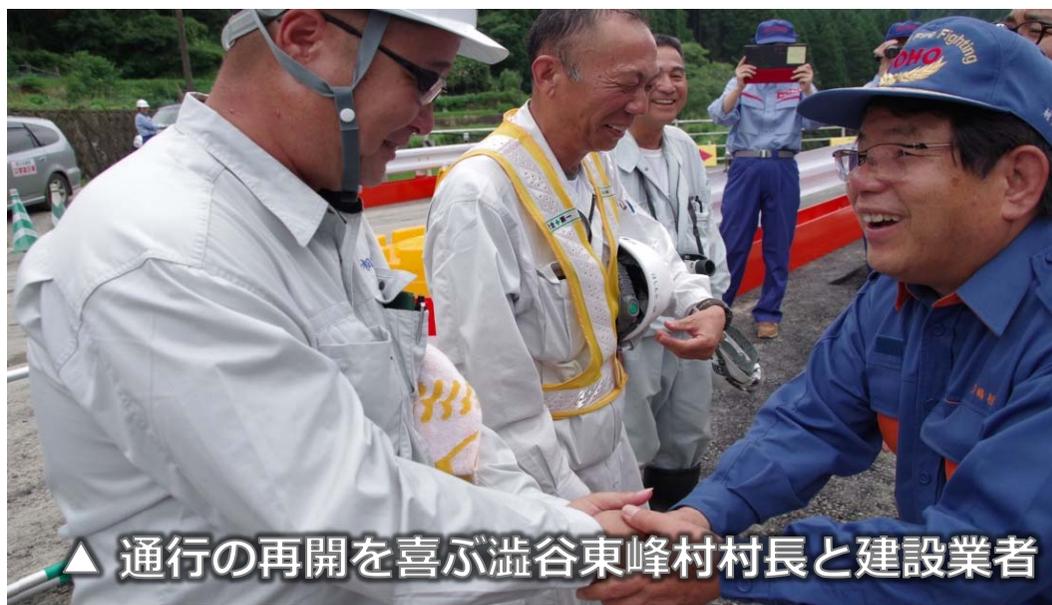
▲ 花月川の緊急復旧作業



▲ 重機による流木の撤去



▲ 荷原川の流木処理作業



▲ 通行の再開を喜ぶ澁谷東峰村村長と建設業者

○ H29.7.13（木） 災害復旧工事の早期着手に向け、災害査定官チーム、福岡県とTEC-FORCE ドローン班が合同チームを結成し、ドローンによる流木堆積状況の緊急調査を実施しました。



- H29.7.14 (金) 小川 洋 福岡県知事が九州地方整備局を訪問され、豪雨被害の迅速な復旧のため、福岡県が管理する赤谷川等の復旧工事を、国により代行することを要請されました。



○ H29.7.14（金）決壊した荷原川（福岡県管理）の緊急復旧において、TEC-FORCEが調整し、九州地整の工事箇所から復旧資材を手配することで、早期に緊急復旧を完了させることができました。



▲ TEC-FORCEによる現地調査（7月7日）



▲ 24時間体制で緊急復旧を実施



▲ 近隣工事より迅速に復旧資材（土砂）を手配



▲ 早期に緊急復旧が完了（7月14日）

○ H29.7.14 (金) 道路啓開作業を進めてきた国道211号において、残り500mの啓開作業が完了し、7月14日 (金) 13:00から緊急車両の全線通行を確保しました。



△ 国道211号では多数の道路崩壊が発生



△ 国道211号の応急復旧作業



△ 7/14 13時より緊急車両の全線通行が可能



△ 通行確保を喜ぶ澁谷 東峰村村長

- H29.7.18 (火) 自治体からの要請を受け被災状況調査を行ったTEC-FORCEが、調査結果をとりまとめ、日田市長と添田町長に報告しました。



▲ 調査結果を原田 日田市長に説明



▲ 寺西 添田町長から謝辞を受けるTEC隊員



▲ 調査結果報告書を原田 日田市長に手交



▲ 調査結果報告書を寺西 添田町長に手交

○ H29.7.19 (水) 新たに創設した権限代行制度を全国で初めて適用し、九州地方整備局は福岡県に代わって赤谷川などの緊急的な河道の確保に向け、土砂や流木の撤去に着手しました。



○ H29.7.20 (木) 栃木県建設業協会から無償で貸与いただいている「大型土のう簡易制作機」により、効率的な大型土のう制作が可能となり、被災現場の早期復旧に貢献しています。



- H29.7.14 (金) 被害が大きい筑後川水系花月川等の4箇所は、一刻も早い復旧を目指して24時間体制で緊急的な復旧工事を進め、建設業者の協力を得て7月14日までに全ての工事が完了。

【筑後川水系花月川左岸1k800付近】

